

野菜の需給・価格動向レポート(平成24年8月6日版)

1 主要野菜の生産出荷状況

種類	7月の価格動向			生育及び価格の8月の見通し		
	(参考)保証基準額の算定の基となる平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均販売価額	上旬	中旬		
葉茎菜	キャベツ	74.19	59	51	53	<ul style="list-style-type: none"> ・入荷見込量: 16,538t (100) ・主産地: 群馬 (73)、岩手 (15)、北海道 (6)
		88.91	61	55	57	<ul style="list-style-type: none"> ・入荷見込量: 4,100t (100) ・主産地: 群馬 (65)、長野 (34)
	ねぎ (関東:白ねぎ 関西:青ねぎ)	273.33	283	318	238	<ul style="list-style-type: none"> ・入荷見込数量: 4,035t (100) ・主産地: 茨城 (38)、青森 (20)、輸入 (7)、北海道 (6)、秋田 (6)、千葉 (4)、埼玉 (3)
		342	313	340	344	<ul style="list-style-type: none"> ・入荷見込数量: 220t (94) ・主産地: 香川 (34)、大阪 (17)、奈良 (13)、徳島 (12)、三重 (6)、高知 (6)
	はくさい	78.06	56	47	52	<ul style="list-style-type: none"> ・入荷見込量: 6,484t (100) ・主産地: 長野 (94)
		88.72	57	45	47	<ul style="list-style-type: none"> ・入荷見込量: 2,600t (100) ・主産地: 長野 (99)
	ほうれんそう	583.95	486	434	579	<ul style="list-style-type: none"> ・入荷見込量: 831t (100) ・主産地: 柏木 (32)、群馬 (26)、茨城 (13)、岩手 (11)
		670.86	591	555	613	<ul style="list-style-type: none"> ・入荷見込量: 400t (91) ・主産地: 岐阜 (85)、北海道 (11)
	レタス	120.13	99	99	109	<ul style="list-style-type: none"> ・入荷見込量: 8,810t (100) ・主産地: 長野 (85)、群馬 (11)
		132.22	98	96	112	<ul style="list-style-type: none"> ・入荷見込量: 1,750t (97) ・主産地: 長野 (99)
果菜	たまねぎ	84.85	139	133	139	<ul style="list-style-type: none"> ・入荷見込量: 9,312t (95) ・主産地: 北海道 (30)、兵庫 (29)、佐賀 (28)、輸入 (8)
		84.85	144	144	146	<ul style="list-style-type: none"> ・入荷見込量: 3,500t (101) ・主産地: 兵庫 (82)、北海道 (10)
	きゅうり	210.69	221	200	216	<ul style="list-style-type: none"> ・入荷見込量: 8,256t (100) ・主産地: 福島 (44)、岩手 (22)、秋田 (12)、宮城 (5)
		221.71	231	201	199	<ul style="list-style-type: none"> ・入荷見込量: 2,200t (95) ・主産地: 福島 (35)、北海道 (25)、愛媛 (20)
	トマト	229.51	318	308	311	<ul style="list-style-type: none"> ・入荷見込量: 9,611t (105) ・主産地: 青森 (27)、福島 (16)、北海道 (12)、群馬 (11)、岩手 (9)、秋田 (7)、千葉 (6)
		271.33	339	346	343	<ul style="list-style-type: none"> ・入荷見込量: 2,200t (100) ・主産地: 岐阜 (39)、北海道 (24)、岡山 (17)、愛媛 (7)
根菜	なす	209.55	350	353	309	<ul style="list-style-type: none"> ・入荷見込量: 4,975t (100) ・主産地: 柏木 (32)、茨城 (25)、群馬 (22)、埼玉 (9)
		221.72	311	315	287	<ul style="list-style-type: none"> ・入荷見込量: 1,250t (99) ・主産地: 山梨 (26)、徳島 (18)、京都 (11)、大阪 (9)、奈良 (8)、福島 (6)、愛媛 (6)
	ピーマン	251.5	236	296	272	<ul style="list-style-type: none"> ・入荷見込量: 2,088t (100) ・主産地: 岩手 (43)、福島 (18)、茨城 (18)、青森 (16)
		266.65	344	354	246	<ul style="list-style-type: none"> ・入荷見込量: 570t (99) ・主産地: 兵庫 (20)、北海道 (15)、福島 (15)、愛媛 (12)、青森 (9)、大分 (8)、鳥取 (6)
根菜	だいこん	94.6	75	67	68	<ul style="list-style-type: none"> ・入荷見込量: 9,943t (98) ・主産地: 北海道 (75)、青森 (18)、岩手 (4)
		100.39	79	74	70	<ul style="list-style-type: none"> ・入荷見込量: 3,200t (95) ・主産地: 北海道 (78)、岐阜 (13)
	にんじん	133.01	184	148	113	<ul style="list-style-type: none"> ・入荷見込量: 6,951t (105) ・主産地: 北海道 (77)、青森 (18)、輸入 (4)
		132.62	214	154	112	<ul style="list-style-type: none"> ・入荷見込量: 2,300t (103) ・主産地: 北海道 (88)、青森 (9)

種類	7月の価格動向			生育及び価格の8月の見通し	
	(参考) 保証基準額の算定の基となる平均価格				
	上旬	中旬	下旬		
いも	344	327	290	338	・入荷見込量: 547t (-) ・主産地: 千葉 (43)、宮崎 (37)、輸入 (10)、鹿児島 (9)
	347.9	338	317	288	・入荷見込量: 185t (-) ・主産地: 宮崎 (72)、鹿児島 (12)、愛媛 (5)、輸入 (5)、大阪 (4)
	101.61	84	86	82	・入荷見込量: 5,850t (105) ・主産地: 北海道 (48)、茨城 (18)、青森 (9)、千葉 (7)
	101.61	93	87	92	・入荷見込量: 3,300t (110) ・主産地: 北海道 (66)、青森 (13)、千葉 (6)
1) 平均価格は、過去6年間の中央卸売市場の各指定野菜の卸売価格を物価指数で修正した価格の平均(消費税は除く。)。 2) 旬別平均販売価額の赤字は平均価格を50%以上回るもの、背景色は保証基準額(平均価格の90%)を下回るもの(消費税は除く。)。 3) 単位は円/kg、上段は関東、下段は近畿ブロック。 4) 入荷見込量は、関東農政局及び近畿農政局「野菜の入荷量と価格の見通し」による。()内は前年対比。さといもは、前年実績。 5) 主産地は、東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。()内は入荷シェアであり、関東は本年の見込み、近畿は前年の実績。 6) コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聴取りをもとに機構が作成したもの。					

- 1) 平均価格は、過去6年間の中央卸売市場の各指定野菜の卸売価格を物価指数で修正した価格の平均(消費税は除く。)。
- 2) 旬別平均販売価額の赤字は平均価格を50%以上回るもの、背景色は保証基準額(平均価格の90%)を下回るもの(消費税は除く。)。
- 3) 単位は円/kg、上段は関東、下段は近畿ブロック。
- 4) 入荷見込量は、関東農政局及び近畿農政局「野菜の入荷量と価格の見通し」による。()内は前年対比。さといもは、前年実績。
- 5) 主産地は、東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。()内は入荷シェアであり、関東は本年の見込み、近畿は前年の実績。
- 6) コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聴取りをもとに機構が作成したもの。

2 野菜の需要動向

家計調査によると、6月の1人当たりの生鮮野菜の購入量は、5.103kgで前年比104%、購入金額は、1,875円で同101%となり、購入量は前年をやや上回り、購入金額は前年をわずかに上回った。	生鮮野菜の購入量及び金額 (1人当たりの購入量、金額)						主要野菜の月別小売価格(東京都区部)の推移 (単位:円/kg)							
	年		過去5か年平均		平成23年		平成24年		キャベツ		レタス			
	購入量(g)	金額(円)	購入量(g)	金額(円)	購入量(g)	前年比	金額(円)	前年比	過去5か年平均	平成24年	5か年比(%)	過去5か年平均	平成24年	5か年比(%)
1月	4,263	1,528	4,310	1,573	4,189	97	1,634	104	166	230	138	547	690	126
2月	4,403	1,552	4,267	1,629	4,499	105	1,735	107	177	247	140	508	691	136
3月	4,815	1,721	4,867	1,788	4,584	94	1,851	104	188	238	126	461	692	150
4月	4,779	1,812	4,796	1,789	4,620	96	1,904	106	238	262	110	462	513	111
5月	5,109	1,894	5,171	1,820	4,945	96	1,948	107	172	196	114	380	409	108
6月	5,043	1,872	4,904	1,857	5,103	104	1,875	101	144	127	88	350	305	87
7月	4,441	1,696	4,362	1,759	0	0	0	0	160	121	76	324	274	84
8月	4,348	1,719	4,392	1,717	0	0	0	0	156	0	0	463	0	0
9月	4,831	1,804	4,598	1,803	0	0	0	0	155	0	0	562	0	0
10月	5,262	1,862	5,037	1,884	0	0	0	0	161	0	0	505	0	0
11月	5,016	1,636	5,091	1,613	0	0	0	0	162	0	0	371	0	0
12月	5,145	1,834	4,998	1,792	0	0	0	0	153	0	0	453	0	0

資料:総務省「家計調査報告(二人以上世帯(農林漁家世帯を除く))」

1) 過去5か年は平成19~23年の平均。
2) 平成24年7月の値は、7月中旬の速報値。

資料:総務省「小売物価統計調査報告」

3 野菜の輸入動向

6月の輸入を貿易統計でみると、生鮮野菜は、前年比123%の8万トン、加工野菜は、同107%の16万トン、野菜全体では、同111%の24万トン、うち中国からの輸入は、同105%の12万トンとなった。生鮮野菜は前年を大幅に上回り、加工野菜と野菜全体は前年をかなり上回った。	野菜の輸入数量の推移 (単位:トン、%)						主な野菜の輸入動向 (単位:トン、%)								
	区分		平成22年		平成23年		平成24年1~6月		平成24年6月		品目		輸入先		
	年	前年比	年	前年比	年	前年比	年	前年同期比	年	前年同月比	年	年	年	年	
生鮮野菜	820,687	133	915,091	112	555,238	109	76,675	123	123	123	たまねぎ	合計	27,351	33,435	122
加工野菜	1,677,840	107	1,803,510	107	939,614	105	160,538	107	107	107	中国	26,487	28,902	109	
野菜合計	2,498,527	114	2,718,600	109	1,494,852	106	237,213	111	111	111	ニュージーランド	226	3,511	1,554	
うち中国産野菜合計	1,284,449	117	1,409,984	110	740,041	107	116,781	105	105	105	中国	5,641	6,282	111	
中国産シェア	51		52		50		49		49	49	ニュージーランド	4,938	5,400	109	

資料:ベジ探 (原資料) 財務省「貿易統計」

資料:農林水産省「植物防疫統計」。平成24年6月は、速報値である。

4 トピック 一 学校給食と野菜の需給 一

学校給食は、食料の需給や、小学生及び中学生の食生活において重要な地位を占めているが、野菜についても同様である。文部科学省の「学校給食栄養報告」によれば、学校給食での「緑黄色野菜」と「その他の野菜」の1日当たりの使用量は、小学生で26gと33g、中学生で59gと73gとなっている。	野菜の学校給食での使用量と需要量に占める割合(平成22年)						算出条件 1) 対象は全国の小中学校(国公立・私立含む)。文部科学省「学校給食栄養報告」による。 2) 1日当たりの野菜使用量をもとに、歩留まり率70%、廃棄率10%と仮定し、月間(20日)の使用量を算出した。 3) 月間需要量は、農林水産省「野菜生産出荷統計」及び「貿易統計」に基づき平成22年における年間需要量を算出し、1月当たりの平均を算出した。		
	生徒数(人)	給食普及率(%)	給食での使用量(g/日)						